

発達障がいとどう向き合うか

発達障がいとは、自閉スペクトラム症（広汎性発達障害）、注意欠如・多動症（注意欠如・多動性障害）、限局性学習症（学習障害）などの脳機能の発達に関係する障がいです。本公開講座では昨年度に引き続き、発達障がいについての理解を深めるとともに、子どもたちの具体的な支援方法について考えていきたいと思います。

第2回 2018年1月7日（日） 受付:10:00 開演:10:30~12:00

タイにおける発達障がいの作業療法

講師: Sarinya Sripetcharawat 先生 (タイ、チェンマイ大学/作業療法士) ※日本語通訳あり

【講師プロフィール】

南カリフォルニア大学 (USC) 作業科学作業療法学部にて学術博士 (作業科学) を取得。USCとWestern Psychological Services (WPS) が提供する感覚統合障害コースを修了。感覚統合検査 (SIPT) の実施認定を受けている。2010年よりチェンマイ大学付属クリニックで作業療法部門のマネージャーに従事。小児作業療法、特別支援を必要とする子どもの感覚統合、作業科学を専門としている。

【講演内容】

タイの文化と日本の文化には大きな違いがあります。今回は、タイの様子、発達障がいのある人々の問題とその解決策、タイでの作業療法についてお話いただきます。タイならではの文化や人々の考え方、ユニークな作業療法の話から、発達障がいと向き合うヒントが得られることと思います。



第1回 2017年9月2日（土） **終了しました**

協調性運動障害のある子どもの評価

一眼球運動、視知覚認知、粗大/巧緻運動、感覚、運動企画について

講師: 藪中 良彦 先生 (大阪保健医療大学 教授/理学療法士)



会場 大阪保健医療大学2号館

対象 どなたでもご参加いただけます

定員 100名(先着) **参加費** 無料

申込 12月上旬~HP, FAX (裏面) または
お電話にてお申し込みください

PC <http://www.ohsu.ac.jp>

**スマート
フォン**

お問合せ先 0120-581-834

※当日の個別相談は受け付けておりません。



アクセス

- 「天満橋」駅から徒歩約8分
- 「大阪天満宮」駅・「南森町」駅から徒歩約10分

大阪保健医療大学は、リハビリテーション専門職 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士) を育てる学校です。リハビリテーションでは、発達障がいのお子さまも支援しています。私たちは、地域の健康づくりに貢献し、社会に開かれた大学を目指しています。

大阪保健医療大学 2017年度 公開講座

参加申し込み書

FAX:06-6354-8887

※の項目は必ずご記入ください。

お申し込み日	年 月 日		
お申込の講座	2018年1月7日(日) 第2回:タイにおける発達障がいの作業療法		
フリガナ ※氏名			
生年月日	年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
※住所	〒		
※電話番号			
メールアドレス			
※参加人数	()名		

◆ご記入いただいた個人情報は、公開講座の案内および諸連絡にのみ使用いたします。